

# 春季特別展

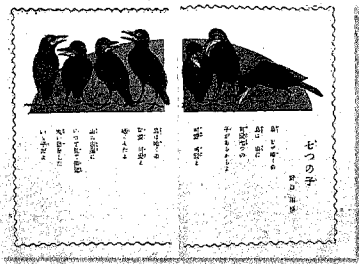
## 野口雨情展

### 「童謡・民謡詩人の巨匠」

野口雨情は、大正時代「赤い鳥」、「金の船」など多くの童謡・童話雑誌が創刊される中、北原白秋・西条八十らとともに活躍し、童謡・民謡詩人の三巨匠の一人と称されました。日本各地を講演旅行するなど、童謡・民謡の普及活動にも熱心であり、大正十四年に谷村町立谷村尋常小学校(現都留市立谷村第一小学校)に來校「童心の芸術について」と題した講話をしています。その縁あつてか、昭和六年、県立の高等女学校として開校した谷村高等女学校の校歌の作詞を手がけています。同校は昭和二十三年、新制高校発足に伴い廃校となりましたが、現在でもその校歌は親しまれており、同窓生の寄付によりその歌碑が校舎跡(都留市役所庁舎前)に建立されています。本展示会では野口雨情と創立七十周年を迎える谷村高等女学校に焦点をあて、いまだに多くの人々によって愛唱されている野口雨情の作品にふれるとともに、当時の女学生達の姿を回顧します。



「金の船」  
第2巻第3号(復刻)



「七つの子」  
「金の船」第3巻  
第7号(復刻)

会期

4月28日(土)～

6月24日(日)

(会期中展示替えがあります)

開館時間

午前9時～午後4時30分

(入館は4時まで)

最終日のみ午後7時まで開館

休館日

毎週月曜日・第三火曜日

ただし、4月30日は開館

入館料

一般

600円(420円)

高校・大学生

400円(280円)

小・中学生

200円(140円)

(内は、20名以上の団体料金)

## 童謡を歌う会

(全4回)

野口雨情の作品ほか、懐かしい童謡を歌います。事前の申し込みは必要ありません。お気軽にご参加ください。

日時 5月6日・20日

6月3日・10日

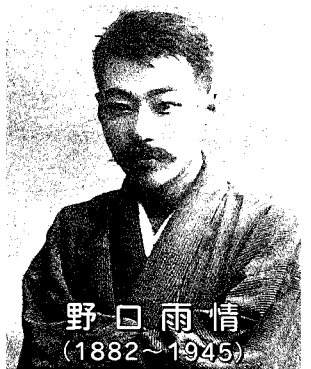
午後1時30分～

2時30分

会場 当館

エントランスホール

協力 都留市合唱連盟



野口雨情  
(1882～1945)

童謡・民謡詩人。

明治十五年茨城県多賀郡磯原村(現北茨城市磯原町)に父量平、母てるの長男として生まれる。

二十三歳のとき処女詩集「枯草」を出版するも、中央詩壇には迎えられることなく、職を転々とし、居住の定まらない中で創作活動を続ける。

大正八年、西条八十などの紹介もあり、中央の児童雑誌に童謡作品を発表し始める。このころ著名な「船頭小唄」(原名「枯れすすき」)を作詩。同九年「金の船」に入社。同誌の編集を行いながら「十五夜お月さん」「七つの子」などを発表。作曲家の本居長世、中山晋平らによって曲譜を付けられた雨情の作品は、現在も多くの人々に愛唱されている。

昭和二十年一月二十七日、永眠。享年六十二歳。

◆代表作

「青い目の人形」「赤い靴」

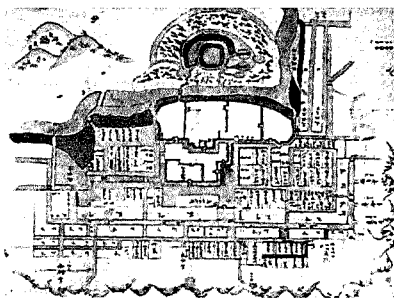
(作曲 本居長世)

「しゃぼん玉」「あの町この町」

(作曲 中山晋平)

## 企画展

「絵図からさぐる  
郡内の城・館」  
開催中!



谷村城下絵図  
宝永2年(1705年)

会期 4月22日(日)まで

休館日

毎週月曜日・第三火曜日

祝日の翌日

入館料

一般

300円(210円)

高校・大学生

200円(140円)

小・中学生

100円(70円)

(内は20名以上の団体料金)

問合せ先

都留市博物館

「ミュージアム都留」

☎(45)80008

☎(45)86008